

令和元年度 事業報告

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

生産年齢人口の減少に伴う人手不足の解消には、高齢者や女性の存在というものが大きく、シルバー人材センターの役割は重要であると考えます。

しかしながら、継続受注していた企業の廃業や年度末に日本国内でも感染が確認された新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた受注先の事業縮小・自粛などに伴い、受注が大幅に減少しました。

このような状況の中、令和元年度の契約金額（請負・委託、派遣）は前年度比94.7%と減少しました。新規の派遣業務の受注はありましたが、請負・委託の契約状況は、公共（6.0%減）、民間（5.7%減）、家庭（10.4%減）となりました。なお、就業率（派遣就業含む。）は88.1%となり、過去3か年平均の86.7%を上回っています。

就業拡大には、女性が活躍できる福祉・介護分野での事業展開が必要と考えますが、介護予防・日常生活支援総合事業のうち通所型サービスである「ミニディサービス事業」は、44回開催、延べ利用者306人となっていますが、訪問型サービスは、利用者5名で延べ利用者は大幅に伸び175人となっています。また、福祉有償運送事業は、利用者15名、延べ213回運行しましたが、短時間での依頼が多く、また、利用者はあまり増えていない状況です。なお、福祉有償運送業務については、就業希望の会員を増やすことも課題となっています。これらの事業を定着化させるには、引き続き、町や関係機関と連携をとり利用者の増加を図る必要があると考えます。

また、健康寿命を延ばすため、会員の健康増進、地域への貢献としてフレイル予防への取り組みを進めていくことも重要なことと考えます。

今後、労働力の深刻な不足などにより生涯現役社会の実現のため、センターの役割と期待は高まってくるものと思われませんが、企業の再雇用・定年延長も進んでおり、新規入会者の年齢と会員全体の平均年齢が上がってきている状況です。

当センターは、就業を希望する高齢者の要望に応えるべく、「自主・自立」「共働・共助」を基本理念として健康で働く意欲のある高齢者に臨時的かつ短期的な就業を提供し、高齢者の能力活用、自らの生きがいの充実や社会参加等を指針として、今後とも事業活動を行ってまいります。

○請負・委託業務

受注件数 (件)	会員数 (人)	就業実人員 (人)	延べ人員 (人)	契約金額 (円)
678 (710)	127 (130)	114 (126)	13,714 (13,893)	66,295,647 (70,990,831)

○派遣業務

受注件数 (件)		就業実人員 (人)	延べ人員 (人)	契約金額 (円)
20 (16)		15 (12)	1,180 (1,187)	7,109,105 (6,535,057)

※ 上段：令和元年度 下段（ ）：平成30年度

1. 就業機会の拡大

就業機会の拡大はシルバー人材センター事業の維持・発展に欠かせない事項です。当センターも会員の能力や希望に応じた仕事が提供できるよう就業機会の拡大を図っていますが、町内だけでは就業機会は限られ、今後は近隣の地域へも就業開拓を広げていかなければと考えます。また、サービス業などの人手不足分野や育児等現役世代を支える分野へも拡大していく必要があると考えます。

就業については、令和元年度の契約金額の合計は、73,404,752円で、前年度比で5.3%の減少となりました。主な減少要因は、継続で受注していた企業の廃業のほか、年度末に日本国内でも新型コロナウイルスの感染が確認され、感染拡大防止の観点から就業先の事業縮小や自粛などが、大きな要因として挙げられます。

新型コロナウイルスの感染の早期収束、一日も早く通常の経済活動が戻ることを願い、今後とも、派遣就業の拡大、公共への就業機会の拡充を図り、多様な働き方を選択できるよう事業展開を進める必要があると考えます。

なお、ふるさと長瀬応援寄付金返礼品の一つである墓地清掃サービスの実績はありませんでした。

2. 安全就業について

(1) 安全委員会（安全就業推進員）での計画のもと安全就業を推進しました。

月 日	活 動 状 況
6月21日	交通安全・防犯研修
7月 9日	安全就業推進大会

9月 3日	安全運転管理者講習会
10月20日	安全就業・適正就業研修
1月10日	安全祈願
1月10日	安全委員会（事故報告、ヒヤリハット事例について、その他）
1月17日	安全衛生講習会
会報での周知	会報ふれあいに安全就業・交通安全等の記事を掲載（9回）
随時	職員による安全就業確認

(2) 傷害及び賠償責任事故（保険対象となるもの）

①傷害事故

令和元年度に発生した傷害事故はありませんでした。

②賠償責任事故（令和元年度に保険金の支払いをした事故）

発生日	作業内容	事故内容	状況
9月20日	除草作業	太陽光パネル板の破損	刈払機で除草作業中、太陽光パネル板に小石等が飛散し破損させた。

3. 会員の入会促進

各種イベントを通しての勧誘活動や会員・知人等からの紹介等により新規入会者を募りました。令和元年度の新規入会者は、7人でした。

- (1) 町等の主催事業において入会チラシを配布
- (2) 広報ふれあい特集号（毎戸配布）に入会募集記事を掲載
- (3) 町広報紙（令和元年11月号）に入会募集記事を掲載
- (4) 入会説明会の開催：参加者8人（うち入会申込者：7人）
- (5) 会員の状況（令和2年3月31日現在）

性別	人数	平均年齢	男女比率
男性	73人	73.8歳	57.5%
女性	54人	71.8歳	42.5%
計	127人	73.0歳	

4. 適正就業の推進

シルバー人材センターは、企業、家庭、官公庁などから業務を受注し、それらを、請負、委任、派遣、職業紹介の形態により、臨時的かつ短期的または軽易な就業を希望する高齢者（会員）に、働く場として提供しています。（高齢者等の雇用の安定に関する法律第38条）

しかしながら、一般企業及び個人等は、センターが関係法令に基づいて請負・委任業務や派遣事業を行っていることに対する認知度がまだまだ低い状況です。

このような中、令和元年度も昨年度に引き続き、適正就業ガイドライン（厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会作成）を、役職員、会員への説明のほか、発注者サイドにも冊子等を活用し周知活動を行いました。

5. 普及啓発の促進

- (1) 毎月発行のセンターの広報紙「ふれあい」の中でセンターの活動等の周知に努めました。
- (2) センターの広報紙「ふれあい・特集号（4月1日発行）」の中で、センターの活動状況等のほか、請負・委任業務、派遣業務についても周知しました。

6. その他

(1) 専門委員会活動報告

(ア) 安全委員会（5人）（2. 安全就業について 再掲）

月 日	活 動 状 況
6月21日	交通安全・防犯研修
7月 9日	安全就業推進大会
9月 3日	安全運転管理者講習会
10月20日	安全就業・適正就業研修
1月10日	安全祈願
1月10日	安全委員会（事故報告、ヒヤリハット事例について、その他）
1月17日	安全衛生講習会
会報での周知	会報ふれあいに安全就業・交通安全等の記事を掲載（9回）

随 時	職員による安全就業確認
-----	-------------

(イ) 事業部会 (6人)

月 日	活 動 状 況
9月24日	フレイル予防研修会に参加

(ウ) 総務部会 (4人)

月 日	活 動 状 況
1月22日 ～3月27日	広報ふれあい特集号(第9号)(4月1日発行)の編集作業 編集会議(1回)及び校正作業等(2回)

(2) 主なボランティア活動

生きがいつくりの充実や社会活動として、次のような活動に参加しました。

月日	内容	参加延人員
年間	花の里の除草・播種等作業	19人
8月16日	船玉まつり翌日清掃作業	27人

参考

昭和63年 9月 1日 (1988年)	長瀬町生きがい事業団設立
平成 8年10月25日 (1996年)	社団法人長瀬町シルバー人材センター設立(許可)
平成24年 4月 1日 (2012年)	公益社団法人長瀬町シルバー人材センター移行